



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2018/3/7発行

第41号

2期生
成長ストーリー

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

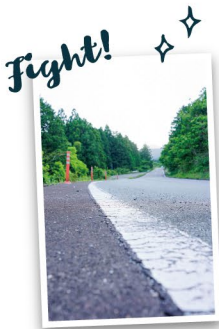
自分自身に 向き合った100km

2期生
成長ストーリー



日本ベンジャミン人間性英才学校
しょうた
2期生 石崎 照太君

2期生の石崎照太(いしざき・しょうた)君は、大学を1年間休学し自分自身に向き合う時間を過ごしています。なかでも一番心が動いたのは、5日間で計100kmもの距離を歩いた日韓徒歩プロジェクトだそうです。



もともと自発的に何かをするタイプではなく、笑顔を見せることや感謝の気持ちを表現することが苦手でした。そんな彼にとってベンジャミン学校に入学すること自体が大きな挑戦。入学してからもなかなか自分のプロジェクトが決まりませんでした。同期生の誘いもありこの日韓徒歩プロジェクトに参加しました。



普段、運動をしていなかったのに8km歩いた頃にはもう足が痛くなりました。平坦な道だけでなく、険しい山道を歩く日や、夜の9時を過ぎて歩き続けた日もありました。

このプロジェクトでは、歩きながら毎日ひとつのテーマについて考えるミッションも行いました。3日目のテーマは「私は誰なのか?」という問いでした。



「険しい山道や暗い夜道でも、みんなで決めた目的地に自分も行きたい!」という強い思いで必死に皆について行った自身を振り返り、照太君が導き出した答えは、「自分は『信念をまげない人間だ』でした。」



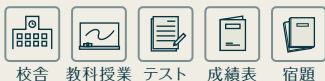
あきらめそうになった時に支えてくれた一緒に歩いた仲間、温かく迎え入れてくれた民宿の人達など、周りの人の心に触れ、感謝する心が芽生えたそうです。

「地球市民として、物を大切にする、ありがとうを言えるようにする、周りを考えて生きていくことが大切だと感じました。徒歩プロジェクトは予想以上に歩いてとても疲れましたが、多くの感謝をすることができました」

日本ベンジャミン人間性英才学校のベンジャミンプロジェクトでは、時に限界を乗り越えるようなことにも挑戦します。その過程は体だけでなく、心をも成長させます。それは既存の教育の枠にとらわれない「5無」の環境だからできることなのかもしれません。地球を学び舎として心も体も成長する1年をぜひ本校で過ごしてみてください。

ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。



校舎 教科授業 テスト 成績表 宿題